

わだち



edu-supp.com



7月に入って2回目となる「わだち」発行です。あと2週間で夏季休業となります。授業の方も追い込みの時期となってきたのではないのでしょうか。とは言っても、コロナ禍以後、大半の学校が2期制となったので、成績に追われることなく、夏季休業が迎えられるのではないかと思います。反対に学期終わりの雰囲気ではなく、ギリギリまで授業をするという方もいるのではないのでしょうか。さて、今回は

- 1 キャリア教育にも使えそう「ジョブタグ」って
- 2 教員のキャリアアップにつながる資格はの2つです。

1 キャリア教育にも使えそう「ジョブタグ」って

具体的には、以下の機能を提供しています。

職業検索: 興味や関心のあるキーワードを入力することで、該当する職業を検索できます。

職種情報: 各職種の仕事内容、求められるスキル、年収、労働時間などを詳しく知ることができます。

タスク検索: 特定のタスク（作業）に興味がある場合は、そのタスクに関わる職業を検索できます。スキル検索:

自分が持っているスキルや活かしたいスキルに合った職業を検索できます。

自己診断ツール: 自分の価値観や興味・関心などを分析し、自分に合った職業を見つけるためのツールを提供しています。

関連情報: 職業に関する最新ニュースや、就職活動・キャリアアップに役立つ情報などを提供しています。



<https://shigoto.mhlw.go.jp/User/>



ジョブタグを簡単にわかりやすく説明して下さい。」AI（Googleが提供するGeminiより）入力すると「ジョブタグは、厚生労働省が提供する職業情報提供サイトです。

「ジョブ（仕事）」「タスク（作業）」「スキル（技能）」の3つの観点から、500種類を超える職業情報をわかりやすく整理・可視化し、就職活動やキャリアプランニングを支援します。」と説明しています。さらに「ジョブタグは、就職活動中の学生、転職を考えている社会人、キャリアアップを目指している人、自分の将来について悩んでいる人など、幅広い層に役立つツールです。

ジョブタグを利用することで、自分の興味や関心に合った職業を見つけられる。必要なスキルや知識を把握できる。自分に合ったキャリアプランを立てられる。などのメリットがあります。」とあります。ジョブタグは、無料で利用できます。皆さんもジョブタグを使ってみませんか。

2 教員の「キャリアアップ」につながるような資格は

長年教員をしていると、「取得しておけばよかったなあ」という資格があります。例えば私たちはお金のことについては、事務職員に任せっきりで税金のことはほとんど知りません。また、メンタルヘルスマネジメントやハラスメントの相談など職場で働きづらくなったときどうすればよいかも意外と知らない人が多いかもしれません。また、外国から沢山の人が入国している現在、日本語を教えることも重要視されています。

そこで、今回はそのようなニーズに合った資格を紹介します。資格には民間の資格もあれば国家資格もあります。そちらも合わせて紹介します。まず最初にこれから注目されるであろう資格を紹介します。

それは、国家資格の登録日本語教員です。実はこれは今年度から開始されます。登録日本語教員になるためには、以下の2つのルートがあります。

1. 試験ルート 日本語教員試験（基礎試験と応用試験）の合格+登録実践研修機関（※1）での実践研修修了
2. 養成機関ルート 登録日本語教員養成機関（※1）での養成課程を修了+日本語教員試験の応用試験合格（基礎試験は免除）+登録実践研修機関（※1）での実践研修修了

詳しくはここから、もっと知りたいという方は私に相談して下さい。

https://www.mext.go.jp/a_menu/nihongo_kyoiku/mext_00004.html

